

事務事業評価表

評価対象年度	平成 15 年度		
事務事業名	真岡鐵道近代化設備整備補助事業(車両更新)		事務事業コード
担当部課係等	総務部企画課		<input type="checkbox"/> 総合計画実施計画対象事業
総合計画体系			法令根拠
予算科目	会計	款	項
	0:5	0:2	0:6
			目
			0:9
			事業
			1:9
事業期間	単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 <input checked="" type="checkbox"/> (開始年度 年度 ~) (14 年度 ~ 18 年度)		
事業概要	全体計画 (単位:千円)		
昭和63年に第三セクター真岡鐵道株として発足。真岡鐵道の車両を導入して14年が過ぎ、故障が増え、定時運行に支障が出てきているため、新車両の導入にあたり沿線自治体が補助をするもの。新車両は小山駅乗入れも可能な全長18m、重量30.2トンの車両を14年度から2両づつ導入する。最終的には12両の導入を計画している。経費の負担割合 国1/3 県及び沿線市町1/3 会社1/3 会社負担分は真岡鐵道経営対策事業基金から取崩して対応する。		事業費	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源
		事業費計(A)	0
		人件費	正規職員 正規職員以外
		人件費計(B)	0
		トータルコスト(A)+(B)	0

(1) 事務事業の目的と効果		(5) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
① 手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細) 15年度実績 車両の導入費用を補助 旧車両の廃棄 16年度計画 15年度と同様		⇒ 導入した車両数 廃棄した旧車両の数 会社への補助金額	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⇒ ⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない 真岡鐵道利用者数	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⇒ ⑦ 成果指標 (対象における意図された対象の程度) 数字は記入しない ① 列車の遅れの発生件数 ① 故障の発生件数 ② 安心して利用している人の割合	
④ 結果(どんな結果に結び付けるのか) 真岡線が親しまれ利用されるようになる。		⇒ ⑧ 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない 乗客の利用満足度	

(2) 総事業費・指標等の推移		(単位:千円)						
		12年度 (実績)	13年度 (実績)	14年度 (実績)	15年度 (実績)	16年度 (見込)	17年度 (目標・計画)	18年度 (目標・計画)
投入費	事業費							
	財源内訳							
	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			11,101	10,968	11,020	11,020	
	事業費計(A)	0	0	11,101	10,968	11,020	11,020	0
人件費	正規職員			81	81	81	81	
	正規職員以外							
	人件費計(B)	0	0	81	81	81	81	0
	トータルコスト(A)+(B)	0	0	11,182	11,049	11,101	11,101	0
活動指標	導入車両数			2	2	2	2	
	廃車数			2	2	2	2	
対象指標	補助金額			10,886,163円	10,967,906円	11,019,517円		
	利用者数			1,281,002人	1,264,029人			
成果指標	列車の遅れ	10件	11件	13件	12件			
	車両故障	6件	8件	10件	11件			
上位成果指標	利用満足度							

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等
 ① この事務事業を開始したきっかけは何か？
 旧車両が耐用年数を過ぎ、老朽化による修繕費等がかさんでいる。
 ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか？
 高校生、通勤者、高齢者などが主な利用客であるが、高校生の減少、自動車通勤、通院回数の減少など、利用客が減少傾向にある。ただし、旧車両が耐用年数を過ぎ、老朽化して危険が増すとともに、修繕費等がかさんでいる。車両更新に合わせ小山駅乗り入れ可能な車両3両を導入する計画である。
 ③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか？
 小山乗入れの早期実現を求める建議要望が議会から出されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが上位施策に結びついていますか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく ⇒【理由】⇒ 意図の「① 真岡線の定時運行・安全運行の実施及び故障による運転トラブルをなくす。② 安心して利用してもらう。」は、利便性の向上 施策の「公共交通の整備」につながっている
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的ですか？	<input type="checkbox"/> 手が引ける ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない ⇒【理由】⇒ 鉄道として唯一の公共交通機関であり、栃木県、茨城県のほか、沿線自治体の支援がないと維持することができない。
	③ 対象・意図の拡大又は縮小余地 事業の対象・意図は適切か？拡大・縮小の余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象、意図に変更はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 余地がある ⇒【原因】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない ⇒【理由】⇒ 車両の更新により、意図は達成される
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【具体的な影響】⇒ 【問題解決策】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ 現車両は、耐用年数を経過して、故障も多く、定時運行に支障が出ている。故障のたび、乗客に迷惑をかけ、代替輸送の経費もかさむ。車両の更新時期にきており休止はできない。
	⑥ 類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【具体的な影響】⇒ 【問題解決策】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ 車両の導入は入札によって業者を選定しているため事業費の削減は困難。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 可能 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 ⇒【理由】⇒ 負担金交付事務のみの人件費であり、削減は不可能である。
公平性 評価	⑨ 受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input type="checkbox"/> 公平・公正な負担率ではない。⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正な負担率である。 ⇒【理由】⇒ 沿線自治体の協議により出している負担率である。

3 改革・改善方向の部

(1)改革の方向性(改革案・実行計画)

廃止 見直し(目的妥当性 効率性 有効性 公平性) 統合 継続
 新車両を導入したことにより、故障や列車の遅れがなくなり定時運行が図られる。

(3)改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			○
	維持			×
	低下		×	×

(2)改革, 改善を実現する上で克服すべき課題は何ですか?それをどう克服していきますか?

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

記述説明不足(説明責任不十分) 評価内容が客観性を欠く 評価内容は客観的と言える

(2) 2次評価者としての評価結果

- | | | |
|---------|----------------------------------------|----------------------------------|
| ① 目的妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 | <input type="checkbox"/> 見直し余地あり |
| ② 有効性 | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 | <input type="checkbox"/> 見直し余地あり |
| ③ 効率性 | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 | <input type="checkbox"/> 見直し余地あり |
| ④ 公平性 | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 | <input type="checkbox"/> 見直し余地あり |

(3) 評価結果に至る経緯や申し送り事項



(4) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性

廃止 休止 目的絞込み 目的拡充 事業統廃合 事業のやり方改善
予算削減 予算増大 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) その他2次評価会議で指摘された事項

真岡市が運行しているように書いてある。真岡鐵道の立場にたって書いてあるようだが。事業概要で全体計画を入れる。

(6)改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			×
	低下		×	×

5 最終意思決定結果

(1)改革の方向性(改革案・実行計画)

廃止 休止 目的絞込み 目的拡充 事業統廃合 事業のやり方改善
予算削減 予算増大 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2)改革, 改善を実現する上で克服すべき課題は何ですか?それをどう克服していきますか?